



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月3日

上場会社名 エスペック株式会社

上場取引所 東

コード番号 6859 URL <http://www.espec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 雅昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 大島 敬二

TEL 06-6358-4741

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	20,934	△0.9	1,021	△16.6	1,263	△8.6	780	31.8
25年3月期第3四半期	21,127	△2.5	1,225	45.9	1,382	39.7	591	△23.3

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,564百万円 (129.1%) 25年3月期第3四半期 683百万円 (2.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	
26年3月期第3四半期	33.54	—	
25年3月期第3四半期	25.45	—	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭		円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	40,178		31,671		78.2	1,350.47	
25年3月期	39,724		30,455		76.2	1,301.17	

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 31,411百万円 25年3月期 30,265百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	7.00	—	8.00	15.00
26年3月期	—	7.00	—		
26年3月期(予想)				11.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	3.9	2,300	23.2	2,400	11.0	1,300	6.6	55.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P.4「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	23,781,394 株	25年3月期	23,781,394 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	521,599 株	25年3月期	521,449 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	23,259,838 株	25年3月期3Q	23,260,173 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想・配当等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく変動する可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、中国経済の成長鈍化の影響などにより景気回復のペースは緩やかなものとなりましたが、欧米を中心とする経済の持ち直しや円安による企業の収益改善が輸出を下支えするなど回復基調が継続しました。

当社の主要顧客におきましては、自動車関連メーカーでは積極的な投資が継続しましたが、その他のメーカーでは、投資マインドの改善は見られたものの本格的な回復には至りませんでした。

こうした中、当社は、好調な自動車市場において取り組みを強化するとともに、設備投資が比較的堅調な恒温恒湿室ビルドインチャンバーなどカスタム製品の受注獲得に注力してまいりました。また、海外市場では、中国・アジアや米国において営業活動を強化してまいりました。

しかしながら、当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、前年同四半期連結累計期間比で受注高は1.3%減少し23,757百万円となり、売上高は0.9%減少し20,934百万円となりました。利益面につきましては、原価率の悪化などにより、営業利益は16.6%減少し1,021百万円、四半期純利益は税金費用の減少により31.8%増加し780百万円となりました。

	前第3四半期連結累計期間 (25年3月期) (百万円)	当第3四半期連結累計期間 (26年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	24,065	23,757	△1.3
売上高	21,127	20,934	△0.9
営業利益	1,225	1,021	△16.6
経常利益	1,382	1,263	△8.6
四半期純利益	591	780	31.8

セグメント別の業績

当第3四半期連結累計期間のセグメント別業績

	受注高 (百万円)	売上高 (百万円)	営業利益又は 営業損失 (△) (百万円)
装 置 事 業	19,086	16,860	814
サ ー ビ ス 事 業	3,969	3,497	300
そ の 他 事 業	835	686	△92
連 結 消 去	△133	△111	0
計	23,757	20,934	1,021

<装置事業>

環境試験器につきましては、国内市場では本格的な投資回復が見られず、恒温恒湿器プラチナスJシリーズなど汎用性の高い標準製品の売上高が、前年同四半期連結累計期間比で減少しました。一方で、恒温恒湿室ビルドインチャージャーにおいては、自動車市場を中心に好調に推移し、前年同四半期連結累計期間比で売上高が増加しました。

海外市場におきましては、欧米では米国子会社が好調に推移し、前年同四半期連結累計期間比で売上高が増加しましたが、中国・アジアの売上高は中国子会社の低迷などにより減少しました。こうした結果、環境試験器全体では、受注高・売上高ともに前年同四半期連結累計期間比で若干減少しました。

エネルギーデバイス装置につきましては、車載用二次電池の分野を中心に市場開拓を進め、引合は増加しましたが受注拡大には至らず、受注高・売上高ともに前年同四半期連結累計期間比で減少しました。

半導体関連装置につきましては、特定の半導体メーカーからの受注もあり、前年同四半期連結累計期間比で受注高・売上高ともに増加しました。

FPD関連装置につきましては、前年同四半期連結累計期間比で受注高は減少しましたが、海外メーカーへの納入があり売上高は増加しました。

こうした結果、装置事業全体では、前年同四半期連結累計期間比で受注高は、0.9%減少し19,086百万円、売上高は0.2%減少し16,860百万円となりました。営業利益につきましては、原価率の悪化などにより前年同四半期連結累計期間比で14.3%減少し、814百万円となりました。

	前第3四半期連結累計期間 (25年3月期) (百万円)	当第3四半期連結累計期間 (26年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	19,255	19,086	△0.9
売上高	16,892	16,860	△0.2
営業利益	950	814	△14.3

<サービス事業>

アフターサービス・エンジニアリングにつきましては、顧客の収益改善を背景に経費の抑制傾向が緩和されアフターサービスや装置の移設・改造の受注が回復してまいりました。前年同四半期連結累計期間比では、受注高は増加し、売上高は減少しました。

受託試験・レンタルにつきましては、主力のテストコンサルティングが自動車市場を中心に引き続き好調に推移しました。前年同四半期連結累計期間比では、受注高は増加し、売上高はレンタルの低迷が影響し、減少しました。

こうした結果、サービス事業全体では、前年同四半期連結累計期間比で受注高は1.6%増加し3,969百万円、売上高は4.8%減少し3,497百万円となりました。営業利益につきましては、売上高の減少などにより前年同四半期連結累計期間比で28.1%減少し、300百万円となりました。

	前第3四半期連結累計期間 (25年3月期) (百万円)	当第3四半期連結累計期間 (26年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	3,905	3,969	1.6
売上高	3,673	3,497	△4.8
営業利益	417	300	△28.1

<その他事業>

環境エンジニアリング事業では、森づくりと水辺づくりが好調に推移しました。植物工場事業では、引合は堅調に推移しましたが、大型案件において受注時期の遅れが発生しました。その他事業全体では、前年同四半期連結累計期間比で受注高は17.4%減少し835百万円となり、売上高は3.5%増加し686百万円となりました。利益面につきましては、前年同四半期連結累計期間比で改善したものの92百万円の営業損失となりました。

	前第3四半期連結累計期間 (25年3月期) (百万円)	当第3四半期連結累計期間 (26年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	1,011	835	△17.4
売上高	663	686	3.5
営業損失 (△)	△142	△92	—

※ 当社グループにおいては、お客さまの予算執行の関係により、契約上の納期が第2・第4四半期連結会計期間に

集中する傾向が強いため、四半期別の売上高をベースとする当社グループの業績には著しい季節的変動があります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は40,178百万円で、前連結会計年度末と比べ453百万円の増加となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金の減少1,346百万円、仕掛品等のたな卸資産の増加1,295百万円、有形固定資産の増加524百万円などによるものであります。また、負債は8,506百万円で前連結会計年度末と比べ762百万円の減少となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少613百万円、賞与引当金の減少229百万円などによるものであります。純資産は31,671百万円で前連結会計年度末と比べ1,215百万円の増加となり、その主な要因は利益剰余金の増加431百万円、その他有価証券評価差額金の増加359百万円、為替換算調整勘定の増加355百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の主要顧客の多くでは、投資に慎重な姿勢が継続しておりますが、現時点において業績計画を修正すべき状況が発現していないことから、平成26年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月14日に発表した数値から変更しておりません。

なお、実際の業績等に影響を与える可能性のある重要なリスクは、平成25年3月期決算短信の6ページに記載の「事業等のリスク」から変更ありませんが、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度より重要な変更はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,371	8,668
受取手形及び売掛金	11,264	9,918
有価証券	3,901	3,901
商品及び製品	333	573
仕掛品	926	1,819
原材料及び貯蔵品	1,101	1,263
その他	1,523	1,716
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	28,414	27,854
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,060	3,176
土地	4,406	4,418
その他（純額）	1,063	1,459
有形固定資産合計	8,530	9,055
無形固定資産	217	197
投資その他の資産	2,561	3,070
固定資産合計	11,309	12,323
資産合計	39,724	40,178
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,730	4,117
未払法人税等	203	333
賞与引当金	372	142
役員賞与引当金	3	2
製品保証引当金	239	189
その他	2,142	2,054
流動負債合計	7,692	6,840
固定負債		
退職給付引当金	26	32
役員退職慰労引当金	19	19
資産除去債務	51	51
その他	1,479	1,562
固定負債合計	1,576	1,666
負債合計	9,269	8,506

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,895	6,895
資本剰余金	7,172	7,172
利益剰余金	17,619	18,050
自己株式	△360	△360
株主資本合計	31,327	31,758
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	443	803
土地再評価差額金	△742	△742
為替換算調整勘定	△763	△407
その他の包括利益累計額合計	△1,062	△346
少数株主持分	190	259
純資産合計	30,455	31,671
負債純資産合計	39,724	40,178

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	21,127	20,934
売上原価	13,751	13,753
売上総利益	7,376	7,180
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,824	1,938
賞与引当金繰入額	43	42
製品保証引当金繰入額	146	113
役員賞与引当金繰入額	1	2
その他	4,135	4,060
販売費及び一般管理費合計	6,150	6,158
営業利益	1,225	1,021
営業外収益		
受取利息	17	23
受取配当金	46	51
有価証券売却益	0	0
持分法による投資利益	50	—
為替差益	25	114
その他	38	63
営業外収益合計	179	252
営業外費用		
支払利息	0	0
有価証券売却損	1	—
支払手数料	8	7
その他	11	3
営業外費用合計	22	11
経常利益	1,382	1,263
特別利益		
固定資産売却益	3	1
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	3	2
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	5	2
投資有価証券評価損	9	—
関係会社出資金売却損	11	—
特別損失合計	26	2
税金等調整前四半期純利益	1,359	1,263
法人税、住民税及び事業税	705	443
少数株主損益調整前四半期純利益	653	819
少数株主利益	61	39
四半期純利益	591	780

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	653	819
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45	359
為替換算調整勘定	6	384
持分法適用会社に対する持分相当額	68	—
その他の包括利益合計	29	744
四半期包括利益	683	1,564
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	622	1,495
少数株主に係る四半期包括利益	60	69

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	装置事業	サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	16,892	3,572	662	21,127	—	21,127
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	100	1	102	△102	—
計	16,892	3,673	663	21,229	△102	21,127
セグメント利益又は セグメント損失(△)	950	417	△142	1,225	△0	1,225

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	装置事業	サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	16,860	3,395	678	20,934	—	20,934
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	102	8	111	△111	—
計	16,860	3,497	686	21,045	△111	20,934
セグメント利益又は セグメント損失(△)	814	300	△92	1,021	0	1,021

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。